



SSKP

つくつく通信

No.88

HP <http://www.normanet.ne.jp/~tsukushi/> BLOG <http://tsukushinbo.cocolog-nifty.com/>

つくしんぽの会報紙

つくしんぽはハンドディをもつ
子どもたちのための
放課後活動のスペースです
編集~NPO法人はらっぱ
つくしんぽ
町田市小川1511番地
TEL/FAX 042-796-8468

さあ、セカンドステージへ

新事業もスタート

開設以来、つくしんぽは障がい児の放課後保障に限定して活動を

創刊してから五年間、1~5年までのつくつく通信のデザインを、

八年ぶりに復活させてみました。

あの頃はとにかく頑張っていました。

今はもうダメです。私が忙しすぎで、年4回が精いっぱいになってしまっています。スミマセン。

がついくたまる方、長いおつきあいありがとうございます。

創刊してから五年間、1~5年までのつくつく通信のデザインを、

八年ぶりに復活させてみました。

あの頃はとにかく頑張っていました。

♪♪♪つくしんぽ日記♪♪♪

7月26日(日) 天気 くもり

「カブトが生まれたら子どもたちが喜ぶかも…」と言われ、幼虫の入っているケースを4箱貰ってしまったのが運のツキ。サナギの頃までは手がかかることもなく、まったく問題なかったのですが……。

夏休みが近くなり、カブトの誕生を喜んだのは最初の一瞬だけ。あとはもう、増えるわ増えるわ、あっという間にケースの数が倍増、事務室がすっかりカブトの部屋に変貌してしまっています。

大食漢捕いでエサの消化も早く、100個入りのゼリーが3日しか持ちません。こんな奴らはとっとと売りたいと思いつつも、野菜のように簡単に買ひ手は現れてくれません。その結果、休みの日にもつくしんぽに



来て餌やりと霧吹きをせにやならず……。
誰かカブトはいらんかね~~~。m(_)_m

卒業証書

山下大輝

平成二十二年九月二十四日生

東京都立町田の丘学園

校長市川健一

平成二十二年三月二十九日

卒業証書

飯塚様

(3月~6月)

ご寄付・ボランティア

ありがとうございました

三箇山様、石川様、山下様、山本様、
桜井様、檜崎様、行田様、西川様、
高尾様、有田様、村上様、大石様、
三宅様、中山様、平沢様、新本様、

ありがとうございました。

あなたは三年の間、お散歩の途

中で、晴れの日も雨の日も雪の

日も、スケジュールボード通り

り行きだつたりするのですが。

私はつくしんぽの職員たちとの

共通の友人でハンディをもつ青年

が、ちょっととしたトラブルから生

活の場を失い、当人の意志とは関

係なく他市の施設に強制的に入所

させられてしましました。彼は一

人暮らしの経験もある青年です。

地元町田を離れての施設生活に納

得できるはずがありません。渋々

の入所生活でした。

で、私たちは、あちこちの方に

迷惑をかけつづめ、半ば強引に彼

を施設から退所させてしまいまし

た。今はつくしんぽのパート職員

と二人で、NPO法人はらっぱと

して借りたアパートで暮

らしており、毎日元気に

職場に通っています。

予定は未定……

長男の事故から三年、

私のライフワークともい

える映画「ぼくはうみが

みたりなりました」も完

成し、3/29の長男のた

めの卒業式の際には初上

映もさせて頂きました。

そんな映画の完成を一

番喜んでくれたのが、私

の母親でした。

ただ、長男がお世話になった方々

の招待だけでホールが満員となつ

てしまい、母が親しくしている人

たちまで誘つてこじがでござず、結局

映画を観て貰えなかつたことが不

満そうでした。

あまりに愚痴つぼく言ひの

で、私は約束しました。「ロード

シーコー前に町田で上映会やるか

ら、そのとき呼べばいい」と……。

それが7/14の試写会だったの

ですが、母はその日を迎えること

ができませんでした。ゴールデン

ウイークの最終、脳梗塞に倒れ、

それから九日後に長男のいる場所

へと旅立つてしましました。

世の中つてほんと、予定通りに

は進まないもんですね。

そんなわけで、これからつくし

んぽは私にとっての後半戦=セ

カンドステージなのです。

とは言つても、実際の活動は

若い職員に任せっきりで、私の担

当はというと、事務作業と経理作

業と増え過ぎてしまつたカブトの

餌やりと煙でできた野菜の無人販

売等々と、ひたすら雑用ばかり。

だからせめてつくしんぽで「デザイ

ン」を創刊当時に戻してみた次第

だつたりしてます。

もっとも、今

年度の最初の通

信の発行が八月

では、偉そつな

ことをまったく

言えないので

けじ……。

まあ、今年の後半戦(=セカンド

ステージ)で頑張って帳尻合わせさせて貰おうと思ひます。(。)

長男に続き、つくしんぽの守護神のような存在だった私の母もいなくなつてしまつたけど、それで私はやつぱりつくしんぽを続けています。

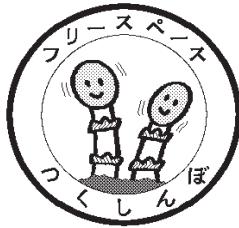
辞めてしまふのは簡単だけ、通つてくる子がいて、いつくなつたこのわからぬといふわれつづつも都からの補助金は継続して受けられていたはでした。

だから、この三四年までが、私はつくしんぽのファーストステージ……。

じつこのつくしんぽのファースト

依田様、坂本建設工業様、中村様、境様、柴田様、若杉様、山下様
ありがとうございました
新規施設に補助金が出るような時代でもなし、どう考へてもやめてしまつたらもつたないです。

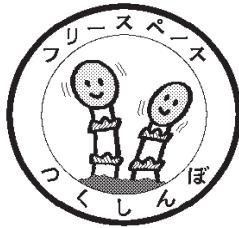
さがむさん入念・一更新



SSKSP

つくつく通信

「つくしんぼ」はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです



★★★★★★★★★★★★★★
つくしんぼの活動は月曜～金曜日
放課後～午後5時30分まで
ボランティアさんを募集集中です
興味ある方はご連絡ください

つくしんぽ 交遊録

ぼくはつくしんぽに いきたくなりました

伊藤 祐貴

こんにちは。「ぼくうみ」の公開が迫ってきて、皆さんの反応にワクワク・ソワソワしている、浅野淳一役の伊藤祐貴です。

今回は、つくしんぼ交遊録を借りて、僕と……いや、ぼくだと淳一君みたいなので、私はします……私とつくしんぼについて述べたいと思います。

私とつくしんぼの出会いは、「ぼくうみ」の撮影が始まる1ヵ月半ほど前、山下さんと町田のいろいろな施設を回った後に、寄ったときのことでした。それまでは、つくしんぼが「障がい児の放課後の遊び広場」という説明は聞いていました。しかし、私が想像していたものとはまったく違っていました。

それは、自分が通っていた学童保育となんら変わらない、つまり違いがないことです。むしろ、職員さんと子どもたちとの間に《してあげる・してもらう》の関係がほとんどなく、個人

がやりたいことに没頭できるという点では、一般の学童より自由だなあと感じました。なので、着いて早々に、山下さんに「本当にみんな障がい児なんですか？」と聞いたほど、みんな思い思いに遊んでいました。

それから幾度か、「ボランティア」と名目づけて、つくしんぼにお邪魔しましたが、実際は子どもたちと遊んでいるのか、子どもたちに遊んでもらっているのか…。

その時にふと感じたのは、これだけ普通に遊んでいる子どもたちなのに、学校では窮屈な思いをしているのかなあ、ということです。人はみんな、どこかで窮屈な思いをしていますが、

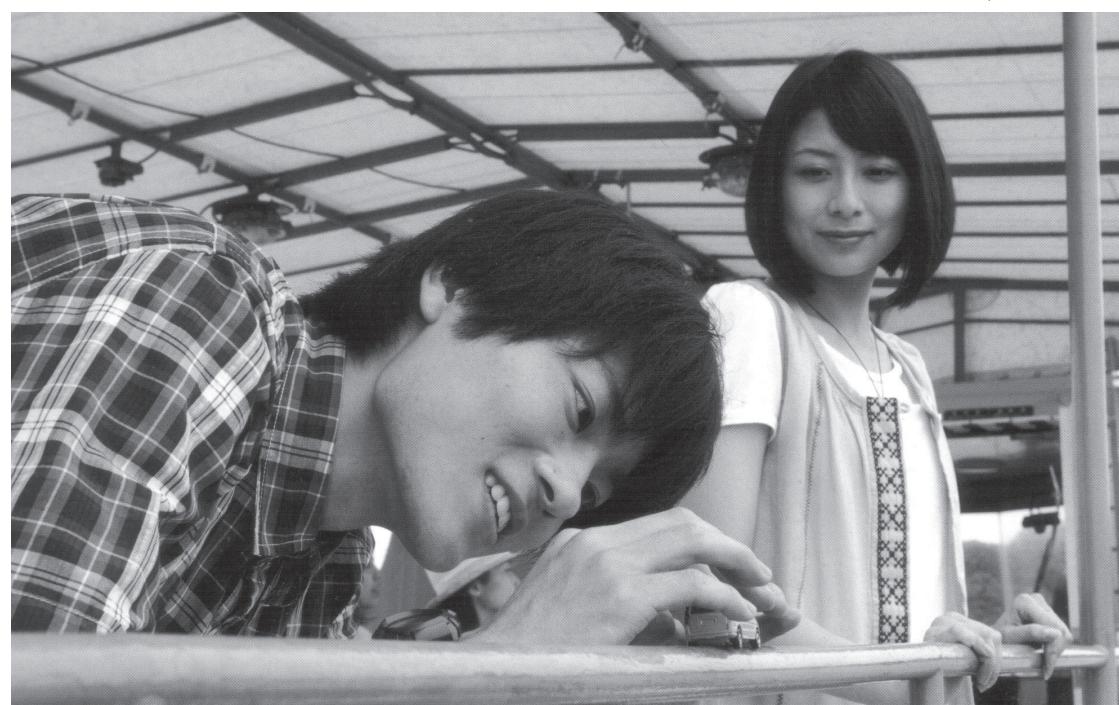
合いはより強いように思います。だからこそ、自分のルールを作ることで外の世界と上手く接している。しかし、時にはそのルールが、世間では通用しないこともある…。

ちょっと堅苦しくなってしまいましたが、そういう「生きづらさ」みたいなものを自閉症の方は強く感じているのではないか。

私は淳一君が、ただ明るい自閉症ではなく、「生きづらさ」も抱えている人物だということを表現したいと考えて、役作りしていきました。

ですが、それが役に表れているかどうかは……「ぼくうみ」を観た皆さんの判断にお任せさせて頂きます。

あー、ワクワク・ソワソワ……。(^ ^;)



つくしんぼの次は？

ぼくはパート職員をして
いる大学院生・高井クンと、市内
の通所施設「ななじゅう」通りの今田
クンガルームシェアリングのかた
ちで一緒に暮りしてます。

補助金・助成金等は一切なく、
今田クンは自分の持ち分のアパー
ト代と生活費を、年金と「ななじゅ
う」からの給料で賄つてます。

法人としては、今年度の「つー
しこれをやるべき金」の入金の少
しを回させて頂き、「公共料金だけ
いは払えたら」と思つてます。

あと、今年も販売してこの駒澤
の売上もプラスして……。

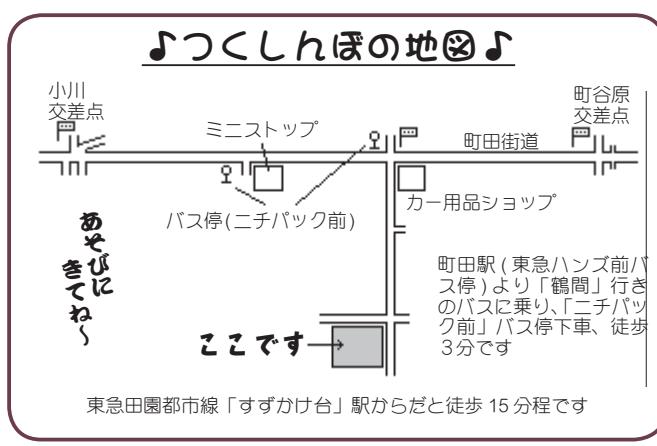
応援頃けたら嬉しいです。

今年度よりNPO法人はらつぱとして、新規の事業を開始します。放課後の場「フリースペースつくしんば」の次であり、生活の場なので『ライフサポートあかんば』と名付けても結構よいかなど思っています。(。)

会員の皆様には、なにもお返しできませんが、心苦しいのですが、「この会報紙「つくづく通信」だけは頑張つて年に4回発行しご送付させて頂きます。

フリースペースつくしんぼは
ハンディをもつ子どもたちの放
課後活動施設です。早いもので、
今年で13年目を迎えています。
1996年に自主グループと
して開所、1998年に東京都
通所デイグループ事業としての
認可を受け、2007年からは
運営主体をNPO法人はらっぱ
に移行し、運営を続けています。
活動を開始して10年以上経過
していますが、補助金額が増え
るわけでもなく、運営資金不足
は相変わらずの状態です。
よろしかつたら「ささえる会」
の会員になってください。年会
費2000円（一口）でお願い
しております。

発行 東京都世田谷区砧6-26-21
障害者団体定期刊行物協会 定価50円



「つくしんぼをささえる会」 ご入会・ご更新のお願い